

made in すかがわを発信

平成22年度から認定し、合計28社76製品に

商工課 ☎(88)9142



市では、地域産業の振興と発展に寄与することを目的に「市工業製品認定制度」を設けています。市内に事業所のある企業が製造する工業製品を認定・公表し、広く情報発信をすることで、製品の販路開拓などを側面から支援しています。

骨伝導イヤホン「PEACE TW-1」

世界最小・高音質・省電力・9.5gと超軽量の骨伝導デバイスで、完全ワイヤレスで音楽を楽しめます。骨伝導イヤホンなので、音楽とともに周囲の音も聴こえるため、ウォーキングなどでの使用に最適です。



アルファ電子株式会社(大桑原字日向128)
医療用機器完成品組立、電気機器完成品組立、検査業務、電子部品組立・こん包出荷業務請負

ポンプセーフ「HPS-1000」

医薬品注入器の検査装置で、医療現場で使用されている輸液ポンプ・シリンジポンプの保守点検を効率的に行うことができます。JIS規格と同様の計量方式を採用し、国内生産のため従来品(海外製)と比較して導入・メンテナンスコストが安く、信頼性が高いのが特徴です。



林精器製造株式会社(森宿字日向45)
腕時計側製造、省力機器製造、医療機器製造、表面処理加工

非常用段ボールベッド「簡段」

段ボールを組み立てるだけで使用でき、避難所生活の質の向上が図られます。テープなどを一切使用することなく組み立てられるほか、外装箱をベッドの周りに立てることで、避難者のプライバシーが保護できる仕様となっています。



神田産業株式会社(館取町22) 段ボール箱製造・販売、こん包資材販売

飛沫防止パネル

段ボールを枠材として透明なPETフィルムを挟み、視界を遮ることなく飛沫感染のリスクを低減できます。一般に使用されているアクリル製パネルに比べて軽量で、安価に導入できるのが特徴です。



原子力災害に関する情報 詳しい測定結果は、市ホームページをご覧ください。

●農産物などの放射性物質濃度の測定結果(9月分) (単位:件)

品目	測定値(セシウム)			計
	検出せず	100Bq/kg以下	100Bq/kg超	
野菜	236	0	0	236
果樹類	417	0	0	417
穀類	9	0	0	9
きのこ	5	1	0	6
山菜	0	0	0	0
その他	8	0	0	8
計	675	1	0	676

※100Bq/kg 超の農産物は流通していません。 ☎農政課(88)9139

●各地区の放射線簡易測定結果(11月2日～11日に測定) (値:マイクロシーベルト/時)

地区	測定箇所	最小値	最大値	平均値
須賀川	60	0.06	0.13	0.09
浜田	9	0.06	0.12	0.09
西袋	63	0.06	0.17	0.10
稲田	14	0.07	0.12	0.10
小塩江	25	0.05	0.12	0.08
仁井田	36	0.05	0.12	0.10
大東	31	0.06	0.13	0.08
長沼	48	0.07	0.19	0.12
岩瀬	51	0.08	0.18	0.12

☎環境課(88)9130

令和元年度水道事業会計決算

持続的・安定的な健全経営で

安全・安心な水をお届けします

約1億5千万円の純利益

総務課 ☎(63)7118

9月市議会定例会で、令和元年度水道事業会計の決算が認定されました。総収益16億8291万円に対して、総費用15億2994万円で、差し引き1億5297万円が純利益になりました。

この利益は、今後の水道施設の整備や借入金返済に充てます。

複式簿記で財務管理

損益計算書(表1) 1年間にどれだけ利益または損失が生じたかを表したものです。収益の部「給水収益」は、水

道料金による収入で、水道事業の主な財源です。

貸借対照表(表2) バランスシートとも呼ばれており、年度末の財政状態を示したものです。

事業運営で得た財産の「資産」、事業運営のために必要とした借入金などの「負債」、事業運営における元手を意味する「資本」で構成されています。

企業債(表3) 浄水場の建設や配水管の布設など、水道施設整備のための長期借入金です。

令和元年度は、8億1880万円を新たに借入れ、年度末の企業債残高は、68億761万円です。

●表1 損益計算書

収益の部		費用の部	
営業収益	14億9,425万円	営業費用	14億3,468万円
給水収益	14億1,770万円	営業外費用	9,526万円
受託工事収益	3,936万円		
その他営業収益	3,719万円	費用合計	15億2,994万円
営業外収益	1億8,866万円	純利益	1億5,297万円
合計	16億8,291万円	合計	16億8,291万円

●表3 企業債残高の推移

年度	金額
平成27年度	51億2,974万円
平成28年度	54億4,802万円
平成29年度	56億7,589万円
平成30年度	63億2,206万円
令和元年度	68億761万円



●表2 貸借対照表

資産の部		負債の部	
固定資産	188億7,548万円	固定負債	70億842万円
有形固定資産	188億6,188万円	流動負債	5億5,542万円
無形固定資産	1,360万円	繰延収益	35億9,190万円
流動資産	24億1,727万円	負債合計	111億5,574万円
現金預金	22億5,041万円	資本の部	
未収金	8,235万円	資本金	90億3,035万円
貯蔵品	2,434万円	剰余金	11億666万円
前払費用	9万円	資本剰余金	2億3,171万円
前払金	6,008万円	利益剰余金	8億7,495万円
		資本合計	101億3,701万円
資産合計	212億9,275万円	負債・資本合計	212億9,275万円

教えて! エスディエス「SDGs」

持続可能な社会を目指す取り組み「SDGs」17のゴールをシリーズでお知らせします。

☎企画政策課(88)9111

●目標13「気候変動に具体的な対策を」



世界中でこれまで経験したことのない巨大台風や局地的豪雨などが発生し、人々の暮らしを脅かしています。

インフラの整備など洪水が起こりにくいまちづくりに取り組み、一人ひとりがもしものときに備えることが大切です。

市の主な事業 準用河川改良事業など

●目標14「海の豊かさを守ろう」



海は多種多様な海洋生物を育むとともに、地球全体の気候を調整する大きな役割を担っています。

人間の活動が海の環境を大きく変えつつある現在、プラスチック製品の使用を控えるなど、海洋資源を守る行動が必要です。

市の主な事業 環境保全推進事業など